

カルミア





おもいのツボ……………2

特集

さやま園の SDGs……………3

さやま園の一年（外出編）……………5

さやま園の一年（新入所者編）……………11

連載

ギャラリー……………13



おもいのツボ

「おもいのツボ」は毎号さやま園の職員がその時自身のツボにきた出来事や感じたことを書く企画です。

調理をやっているので料理をするのが好きなのですが、実は冬になってから自分の家でお菓子作りがマイブームです。

クッキー作りが段々とバタークッキーになりフロランタンになりました。フロランタンというのはクッキー生地の上にキャラメルでアーモンドスライスをコーティングしたフランスのお菓子です。サクサクのクッキー生地に香ばしいキャラメルとアーモンドの香りがして美味しいです！

好みでクッキー生地を厚くしたり、キャラメルを濃くしたり、薄くしたり、少なくしたりそうして何回も作っているとさやま園の利用者さんたちにも食べてもらいたいな…という気持ちが少しずつ湧いてきています。

いろんな食形態の利用者さんがいるのであれやこれやと考えながらお買い物の日々です。

いつか皆さんに食べてもらえるように頑張って試行錯誤をしていきたいと思います！

ちょっとカロリーが高いので、栄養士さんと要相談なのですが (´▽`)



調理職員 中野瞳美

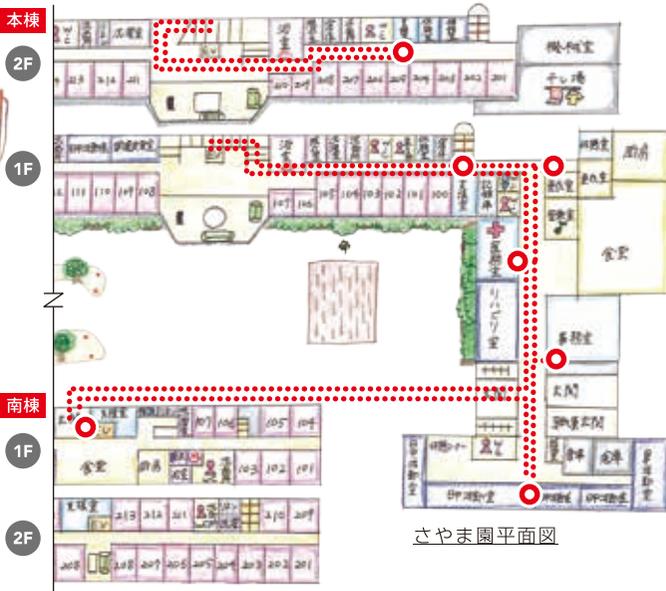


さやま園のSDGs ペットボトルキャップ回収 ペットボトルリサイクル

さやま園のペットボトルキャップ回収は、コロナ禍の時期、外出が制限された利用者さんの運動不足解消のため、ウォーキングとSDGs活動のキャップ回収を組み合わせることで、誕生しました。歩く目的ができ、運動のモチベーションが上がることを期待して、始められました。

方法は、職員や利用者さんが飲み終わったペットボトルのキャップを入れる回収BOXを、各支援室や玄関・更衣室前など、さやま園内の7カ所に設置し(※)、そこに集まったキャップを利用者さんに回収してもらいます。その結果、運動不足の解消とSDGs活動の一石二鳥を目指します。期待通り、このアイデアはうまく機能して、今では皆時間になるとすぐ作業に取り組む様子が

ペットボトルキャップ回収ルート
ペットボトルキャップ回収ポイント



さやま園平面図

見られ、やりがいにも繋がっています。

そして回収のため園内を隅々歩くので、担当外の職員や別の活動場所の利用者さんと交流ができるなど、当初想定していなかった一石二鳥以上の効果もありました。

回収したこれらのキャップは業者さんに渡し、最終的に世界中のことも達のワクチン接種に役立てられるそうです。

また、この取り組みから派生して、ペットボトルのリサイクルも開始しました。近隣のコンビニまで行き、さやま園で出たペットボトルをリサイクルボックスに投入しています。この活動は、リサイクル班の利用者さんの社会貢献にも繋がっています。

今後も利用者さんがやりがいを持てる活動を提供したいと思います。

日中活動職員 ウォーカーズ担当 中村 政志

※2月下旬から園外の近隣の施設でもキャップ回収を行っています。



コンビニのリサイクルボックスにペットボトルを投入している様子



2025 年度
外出・旅行

今年度さやま園では、様々な活動が復活し、コロナウイルス流行前の生活を取り戻しつつあります。その中でも利用者の皆さんが再開を待ち焦がれたのが外出です。

さやま園では、おやつ外出・昼食外出・一日外出・宿泊旅行など様々な外出があります。

カルミア226号・227号に掲載することのできなかった旅行・外出の思い出を、それぞれエピソードで、ご紹介します。



おやつ外出

定期的に外出の機会が設けられるよう、おやつ時間に近隣のお店へ出向き、個々に好きな飲み物やおやつを選びいただきます。好きな物を選ぶ喜びが、表情からも見受けられます。



女性の利用者さんが多いさやま園。カフェやファミレスで、甘いスイーツを頬張る時間は至福のひと時です。さやま園ではあまり飲む機会のない炭酸飲料やココアを選ぶ方が多いです。職員も一緒にクレープやケーキをいただきました。(つくしグループ)



昼食外出

さやま園ではあまり出ることのないお寿司やピザが人気です。昼食後には買い物を楽しんだりもします。

車で昭島にある温泉まで行ってきました。利用者の皆さんはお風呂が大好きで、そんな要望に応じてご飯とお風呂をミックスにした昼食外出です。ご飯を食べた後は温泉に入り、ゆったりとした時間を過ごす事が出来ました。お風呂後には冷たい物のリクエストが多かったのでアイスクリームを食べたからの帰園です。忙しいけど楽しい外出でした。(わかばグループ)



1日外出

宿泊旅行に行くことが難しい利用者さんをメインに企画される外出です。皆さんの希望を聞いて日帰り旅行を実施しています。



野球観戦

ライオンズの大ファンである利用者さんと念願の（コロナにより数年行けず）ペルーナドームで野球観戦！ライオンズ対ソフトバンクの熱い戦いを全身に浴びてきました。試合後には戦った全ての選手へ敬意を込めて、帽子を取り一礼する美しい姿も。（すみれグループ）



カラオケルーム

今年度は久しぶりにあんず・かえでグループ総勢 32 名全員で外出をしました。余暇活動としても大人気のカラオケですが、実際にお出かけたカラオケは格別！職員・利用者さんともにドリンク、マイクを片手に熱唱です。（あんず・かえでグループ）

大宮鉄道博物館

皆大好きな電車を見に行きました。（わかばグループ）





水族館

1年前から「水族館に行きたい」と話されていたKさん。さやま園入所以前の通所先で水族館にお出かけしたことがあり、さやま園でも水族館にお出かけしたいと話されていました。11月、念願かなって4名で水族館へ出かけました。ご家族にはお土産のクッキーを、自分用にはぬいぐるみを購入されました。ぬいぐるみはいつも枕元に置き、今でも嬉しそうにされています。(あんず・かえでグループ)



ぶどう狩り・猫カフェ

車椅子の利用や移動の際に介助が必要な利用者さんも、安心して楽しく外出が出来るよう職員が企画しました。猫カフェやぶどう狩りなど、普段とは違う体験をして楽しめました。(つくしグループ)



ミニブタカフェ

サモエドカフェ、猫カフェならぬ「マイビッグ(マイクロブタ)カフェ」！利用者さん・職員ともになかなか触れ合ったことのないブタさん。積極的に触れ合いに行く人もいれば、恐る恐る触れ合う人、怖がってしまう人も…。貴重な体験でした。(あんず・かえでグループ)



宿泊旅行

今年度から、各グループ 1 回から 2 回の宿泊旅行が再開しました。メンバーの希望をきいたうえで、職員と旅行会社で企画をしています。

秩父
旅行

今回は、1泊2日で秩父方面へ旅行にでかけました。久しぶりの旅行となり、非日常の時間を過ごしました。景色や豪華な料理を堪能し、普段とは違う表情も印象的でした。（つくしグループ）

伊豆
旅行



サファリパークや水族館を観光しました。(わかばグループ)



旅館でカラオケ。(わかばグループ)



1泊2日の伊豆旅行！温泉だけでなく、めんたいパークでおにぎりをほお張ったり、スカイウォークから景色を楽しんだり。利用者さんだけでなく、職員も旅行を楽しむことができ充実した2日間になりました。(すみれグループ)

2025年 入所者紹介

今年一年を振り返ると、各グループに新しいメンバーが増えた年でもありました。

1年経って、そろそろさやま園での暮らしにも慣れてきたかなというところ。笑顔が増えてきたり、意外な一面も見えてきたり。職員も「これはどうかな？あれはどうかな？」と得意なことを見つけられるよう、日々試行錯誤しながら接しています。

すみれグループ

鷺谷 さん
WASHIYA

最近ハマっていることは、公園のブランコを高く高く蹴り上げることです。器用に何でもできるので、楽しめることをもっと増やしていきましょうね。



すみれグループ

高田 さん
TAKADA

朝出勤してきた職員の名前を聞き、夜寝る前日記帳へ書くことが日課です。難しい漢字もお手の物。会う度丁寧なお辞儀と共に挨拶をしてくれる姿には、職員の気も引き締まります。



かえでグループ

坂井 さん
SAKAI

かえでグループの誰にも負けなほどパズルに情熱をそそぎ、他の利用者さんが夜起きていると心配をして声をかけてくださる一面も。これから楽しい思い出を増やしていきましょう!

つくしグループ

近藤 さん
KONDOU

2025年1月に入所されました。

自宅でテレビを観ることが好きで、野球や相撲、難しい政治番組を見ながら過ごされています。時折、鑑賞中に楽しそうな声が廊下に響き渡っています。



わかばグループ

境野 さん
SAKAINO

2025年2月に入所した境野さんです。笑顔が大好きで職員に何時も「笑顔」と話しかけています。職員が「境野さんも笑顔」というとニコリ笑顔で応えてくれます。



わかばグループ

田中 さん
TANAKA

何時も元気一杯で周りを明るくしてくれる田中さん。気遣いもばっちり職員のお手伝いや、他の利用者さんが困っていると助けてあげる優しい一面もあります。





ART GALLERY

さやま園には、利用者さんの作品を展示する「ギャラリースペース」があります。その様子をご紹介するページです。

鷺谷さん作品展



昨年の1月、さやま園に新入所された鷺谷さんに通所していた作業所では、ペンを使って絵を描いていたようですが、さやま園に来てから「貼る」という手法を好むようになりました。

画用紙いっぱい沢山の「ぐるぐる」を描いた上に、色とりどりの折り紙を自由自在に貼っていきます。シールなどの異素材を混ぜるときも、最初は重ねて貼ることで奥行きがでるような作風でしたが、そこから段々と拡がっていき、ラインに沿ってみたり、散らばせてみたり…変化が生まれてきました。

土台となる「ぐるぐる」も、黒一色を用いることがほとんどでしたが、その日によってピックアップする一色が変わってきました。

鷺谷さんの作業には明確な「ひと区切り」があるようです。1回の活動で、必ず1枚の作品を作り上げます。本人の中の完成形になると、あっという間に片付けて、静かに席に座っています。その集中力と素早さには、職人さんのような風格を感じます。



EXHIBITION WASHIYA

職員募集！

さやま園では私たちと一緒に働いてくれる方を募集しています。
ご興味のある方はホームページのお問い合わせフォームかお電話でご連絡ください。

職種：生活支援員

- 常勤職員（契約社員）18歳~70歳まで 月給¥238,300
シフト制による週休2日（夜勤あり）
 - パート職員 18歳~70歳まで 時給¥1,226~
シフト制（時間相談可） *正社員登用あり
- *未経験者可（研修が充実しているので安心して働けます。）



さやま園のホームページの
求人に関するお問い合わせ
を選択し、ご連絡ください。

<https://sayamaen.com/new-contact>

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

リクルート担当：本間・茂木

ボランティアさん募集！

さやま園では様々な活動をしています。
そのお手伝いをしてくださる以下のボラン
ティアさんを募集しています。

作業内容：季節に合った装飾作り

活動日時：平日の13:30~15:30

- 利用者さんが余暇の時間に制作する、季節の装飾作りの土台となるものを制作していただける方を募集しています。
- 活動に入る前に、職員より、活動の流れ等を簡単に説明します。
- ボランティアの皆さんには、下絵を描いてもらったり、装飾のパーツを作ってもらったり、利用者さんが簡単に制作に取り掛かりやすいよう装飾作りの準備をお願いいたします。

寄付のお願い

依頼品目：消毒用タオル

感染症予防のための園内消毒に使用する布が不足しています。いらなくなったタオルを手のひらサイズに切ってご持参いただくと助かります。

問い合わせ先 TEL：042-391-3275

ボランティア担当：奥山
リクルート担当：本間・茂木

編集後記

今回の特集を通して、改めて2025年を振り返る良いきっかけとなりました。新しい利用者さんをお迎えてにぎやかになった日々、日帰り外出や一泊旅行での新しい発見、そして思わず笑ってしまうような小さなハプニング……。そんな思い出話に花が咲き、つつい編集の手が止まってしまうこともありました。

私たちが日々感じているのは、「利用者さんと過ごす時間が本当に好き」という気持ち。一緒に笑ったり、時には涙したり……。そんな時間の中で生まれる喜びや感動、悔しさや切なさも含めて、心が動く瞬間がたくさんあります。人と人とのつながりを大切にできる場所、それがさやま園のいちばんの魅力です。ご興味のある方は、ぜひ一度さやま園に遊びにいらしてくださいね。

広報委員：茂木

発行元：指定障害者支援施設 さやま園

発行責任者：三瓶達矢

住所：〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-13

TEL：042-391-3275 ・ FAX：042-391-3276

さやま園のホームページ

<https://sayamaen.com>

